

＜クリスマス・ドロップ作戦＞物資梱包作業 *Let's Get Ready to Bundle!*

December 12, 2018

By Senior Airman Matthew Gilmore
374th Airlift Wing Public Affairs

(写真1)グアムのアンダーセン空軍基地で12月8日、「クリスマス・ドロップ作戦2018」で投下する梱包箱に生活必需品を詰める第374航空機整備中隊の空兵。

第374航空機整備中隊の空兵は、梱包作業以外の時間は任務飛行を行っている航空機が効果的に訓練できるよう確認業務を行う。



1

(写真2)航空自衛隊、インド空軍、フィリピン空軍の隊員に、低コスト低高度の投下物資にT-10パラシュートを正しく装着する方法を実演して見せる横田基地第374装備即応中隊戦闘機動小隊の空兵。

クリスマス・ドロップ作戦は、米空軍とパートナー国の部隊が、太平洋地域の未調査の投下地点に低コスト低高度投下で人道支援および災害救援に備えた訓練を強化する場となっている。



2

(写真3)低コスト低高度投下物資梱包箱の蓋を運ぶ、第374装備即応中隊戦闘機動小隊運用技師クリス・アセベド一等空兵。

同部隊は年間を通じて、クリスマス・ドロップ作戦の準備のためのパラシュート収納作業および梱包箱の製作を行っている。同部隊は、クリスマス・ドロップ作戦の空中投下訓練で使用される150の梱包箱を提供している。



3